

令和2年度第3回白石高校

つなぐ つながる
夢 T ∞ T プロジェクト
会議資料

令和3年3月19日(金)15:00~16:00

於:白石高校普通科キャンパス会議室

白石高校 夢T∞Tプロジェクト会議（地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト）

第3回会議 座席表

令和3年3月19日

徳進 岸議 中事
 永行 川長 島務
 智副 美 局
 浩校 和校 淳副
 長 子長 校長

委員 白石町
 筒井直様

委員 大町町
 中川君隆様

委員 江北町
 米田貴美様

事務局
 溝口俊彦 事務長

事務局（商業科C）
 御厨久充 主幹教諭

事務局（普通科C）
 岩谷祥史 教諭

教育振興課

教育振興課

教育振興課

特別委員

堤王宏様

特別委員

平井奏様

光田新吾 講師
 事務局（普通科）
 ターコ | デイナー |
 門田芳彦
 事務局
 瀧野達郎 教諭
 事務局（商業科）

令和2年度 第3回新白石高校

夢T(つなぐ)∞T(つながる)プロジェクト会議

日時 令和3年3月19日(金) 15時00分～16時00分

場所 佐賀県立白石高等学校 会議室

会議次第

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶(代表挨拶)
- 3 県教育委員会挨拶
- 4 委員及び特別委員の自己紹介 資料1
- 5 議 事
 - (1) 2020年度事業報告
 - ① 普通科キャンパス事業報告 資料2
 - ② 商業科キャンパス事業報告 資料3
 - (2) 夢T(つなぐ)∞T(つながる)プロジェクト
 - ① ルーブリック評価について
 - (3) 2021年度事業計画
 - ① 普通科キャンパス
 - ② 商業科キャンパス
 - (4) 情報交換
 - ① 白石町・大町町・江北町から
 - ② 特別委員から
- 6 その他
令和3年度チーム会議について
令和3年5月中旬
- 7 閉 会

(資料)

- ・ 資料1 白石高校「夢T∞Tプロジェクト」委員名簿(改訂)
- ・ 資料2 普通科キャンパス実践報告資料
- ・ 資料3 商業科キャンパス実践資料
- ・ 資料4 ルーブリック評価
- ・ 資料5 令和3年度「夢T∞Tプロジェクト」予定
- ・ 資料6 別添資料①

令和 2 年度
地域とつながる「夢T∞Tプロジェクト」委員名簿

佐賀県立白石高等学校

【委員名簿】

	役職名	氏 名	備 考
1	委 員	筒井 直	白石町関係者
2	委 員	中川 君隆	大町町関係者
3	委 員	米田 貴美	江北町関係者
4	特別委員	堤 王宏	普通科キャンパス・白石町教育委員
5	特別委員	平井 奏	商業科キャンパス・地域協力隊
6	委 員	岸川美和子	学校関係者・議長

【事務局】

1	事務局	徳永 智浩	学校関係者（副校長）
2	事務局	中島 淳	学校関係者（副校長）
3	事務局	溝口 俊彦	学校関係者（事務長）
4	事務局	御厨 久充	学校関係者（主幹教諭） 商業科キャンパス代表
5	事務局	渕野 達郎	商業科キャンパス代表
6	事務局	岩谷 祥史	普通科キャンパス代表
7	事務局	光田 新吾	普通科キャンパス代表
8	事務局	門田 芳彦	コーディネーター

令和2年度 新白石高校「夢T∞Tプロジェクト」取組実績

別紙1

佐賀県立白石高等学校

実施月	取 組 内 容		
	普 通 科 キ ャ ン パ ス	商 業 科 キ ャ ン パ ス	
1 学 期	4月	探究オリエンテーション	課題研究オリエンテーション
	5月	第1回チーム会議 第1回プロジェクト会議	第1回チーム会議 第1回プロジェクト会議
	6月	小中学校連携：白石アスリート陸上練習会 佐賀大学と連携した進路講演会 地域連携講座 総合的な探究の時間	課題研究 佐賀大学と連携した進路講演会 課題研究
	7月	総合的な探究の時間 第1回指定校情報交換会	大町町役場でのプレゼンテーション(地域課題) 白石町役場でのプレゼンテーション(地域課題) 課題研究 第1回指定校情報交換会
夏 休 み	8月	令和元年佐賀豪雨に関わるフィールドワーク 小中学校連携：白石アスリート陸上練習会 進路講演会に関わるフィールドワーク	小中学校連携：中学生対象プログラミング教室 小中学校連携：小学生対象プログラミング教室 進路講演会に関わるフィールドワーク
2 学 期	9月	総合的な探究の時間 小中学校連携：白石アスリート陸上練習会 有明海セッション(環境保全活動、海苔養殖体験)	江北町役場でのプレゼンテーション(地域課題) 企業連携：企画商品プレゼンテーション 白石町「レシビイベント」事前学習会 大町町「こども・あそび・マルシェ」打ち合わせ 大町町「町づくりアンケート」実施 課題研究
	10月	佐賀大学と連携したオンライン交流 総合的な探究の時間 ESD講演会6講座+座談会 和太鼓実習(1、2年生) 音楽授業を受けての和太鼓の発表会(2年生) 小中学校連携：白石アスリート陸上練習会	白石町「レシビイベント」調理実習 課題研究

学 期	2	<p>11月</p> <p>地域とつながる中間報告会 小中学校連携：地元小中学生との剣道合同稽古会 総合的な探究の時間 剣道合同稽古会（約100名の参加） 職業人講話7講座 普通科キャンパスの1年生探究学習で4グループがフィールドワークを実施（白石町役場・白石警察署・白石共立病院・美容院） 白石町役場総合戦略課の依頼で「白石町の町づくり」アンケートを実施。全校生徒対象。 白石町須古地区地域づくり協議会に生徒参加 高校生徒会長による中学校訪問</p>	<p>地域とつながる中間報告会 大町町「こども・あそび・マルシェ」 大町町「まちあそび人生ゲーム(仮)」打ち合わせ 白石町「レシビイベント」最終プレゼン 白高祭(文化祭)における活動報告展示 高校生徒会長による中学校訪問 課題研究</p>
	3	<p>12月</p> <p>総合的な探究の時間 「夢を形にプロジェクト」発表会 Soceity5.0実現を目指した講演会+ディスカッション 第2回指定校情報交換会</p>	<p>江北町「勝手にボランティア」清掃活動 大町町「まちあそび人生ゲーム(仮)」説明会 第2回指定校情報交換会 課題研究</p>
学 期	3	<p>1月</p> <p>第2回チーム会議 第2回プロジェクト会議</p>	<p>江北町「勝手にインスタ」町のPR活動 第2回チーム会議 第2回プロジェクト会議</p>
		<p>2月</p>	<p>白石町「レシビイベント S-1グランプリ」 課題研究発表会 大町町「まちあそび人生ゲーム」</p>
		<p>3月</p> <p>有明海セッション(環境保全活動) 第3回チーム会議 第3回プロジェクト会議 第3回指定校情報交換会</p>	<p>第3回チーム会議 第3回プロジェクト会議 第3回指定校情報交換会</p>

ルーブリック評価結果(令和2年度) その2

指 標 (目指す学校像)	資 質 ・ 能 力 (伸ばしたい力)	概 要	評価「3以上」の生徒の割合(%)									
			R1_1年	R1_2年	R1_3年	R1_普通科	R1_商業科	R2_1年	R2_2年	R2_3年	R2_普通科	R2_商業科
地域との連携を通して、 探究的・実践的な教育を 実現する	A 知的好奇心 探究心	A 地域連携授業を通して、知的好奇心を 刺激され、探究的に学習に取り組みようとす る。	24.9	22.7	27.9	29.8	18.6	<u>36.4</u>	<u>32.4</u>	<u>32.5</u>	<u>34.6</u>	<u>32.4</u>
	B 思考力	B 問題の原因や構造を論理的に考え、困 果関係を整理して、課題を理解することが できる。	21.3	26.8	25.2	29.1	17.5	<u>35.8</u>	<u>44.1</u>	<u>40.7</u>	<u>41.4</u>	<u>38.3</u>
	C 実践力・実行力	C 掲げた目標や解決したい課題に対し て、行動を起こすことができる。	40.6	37.2	42.6	44.8	33.6	38.0	<u>42.5</u>	38.1	37.9	<u>41.9</u>
地域活力の向上に生徒自 らが貢献できると思うよ うになる	D 自己肯定感	D 自分を意味ある存在として考え自信を 持ち、課題解決のために自分の役割を見つ け、全力で取り組み、遂行できる。	29.5	33.0	39.0	39.6	26.1	<u>47.6</u>	<u>58.7</u>	<u>53.1</u>	<u>54.1</u>	<u>51.4</u>
	E 自分を振り返り (メタ認知力)、変え ようとする力	E 自分の言動や行動を高いレベルから見 つめ直し、常に改善しようとする意識を持 ち、次の行動に繋げることができる。	41.1	35.5	43.5	44.3	34.5	<u>51.3</u>	<u>52.5</u>	<u>45.4</u>	<u>49.4</u>	<u>50.0</u>
	F マネジメント力	F 自分や組織での取り組みを、計画性を 持って進めることができる。	30.5	31.5	39.5	40.4	24.8	<u>34.8</u>	<u>45.3</u>	39.2	40.2	<u>38.7</u>
	G 主体性	G 社会を支える当事者としての意識を持 ち、地域や国内外の未来を真剣に考えるこ とができる。	28.9	32.5	33.1	35.7	25.3	<u>32.6</u>	<u>43.6</u>	32.0	<u>37.6</u>	<u>33.3</u>
地域にとって次代の担い 手を輩出する	H 寛容的態度	H 文化や価値観の違う他者を受け入れ、 思いやりの温かさを持ち、協働して共に高め ようとすることができる。	72.2	65.9	62.9	72.3	58.0	70.6	<u>72.1</u>	<u>64.9</u>	69.8	<u>68.0</u>
	I 協働力	I 仲間と協力・協働しながら互いに高め あえる行動が取れる。	47.2	48.0	43.0	49.7	39.9	<u>58.8</u>	<u>61.5</u>	<u>55.7</u>	<u>62.7</u>	<u>52.3</u>
地域に愛され、地域に信 頼される	J 地域への愛着・ 地域志向	J 地域に対する愛着を持ち、地域の良さ を認めつつ、地域課題の解決に貢献したい と思う。	27.4	24.8	27.9	32.4	18.2	<u>33.7</u>	<u>37.4</u>	<u>37.6</u>	<u>37.0</u>	<u>35.1</u>

※「赤」で表示された数値は、前年度比で増加したもの

ルーブリック評価結果(令和2年度) その1

指標	資質・能力 (伸ばしたい力)	概要	評価「3以上」の生徒の割合(%)													
			R1_1年 普通科	R1_2年 普通科	R1_3年 普通科	R1_1年 商業科	R1_2年 商業科	R1_3年 商業科	R1_全体	R2_1年 普通科	R2_2年 普通科	R2_3年 普通科	R2_1年 商業科	R2_2年 商業科	R2_3年 商業科	R2_全体
A 知的好奇心 探究心 地域との連携を通して、 探究的・実践的な教育を 実現する	A	A 地域連携事業を通して、知的好奇心を 刺激され、探究的に学習に取り組もうとす る。	31.1	28.7	29.6	15.4	13.1	25.2	25.4	42.0	30.4	30.8	26.5	35.1	35.1	33.7
	B	B 問題の原因や構造を論理的に考え、因 果関係を整理して、課題を理解することが できる。	22.6	34.7	29.5	19.3	14.4	18.3	24.4	38.7	47.1	39.3	30.9	40.3	42.9	40.1
	C	C 掲げた目標や解決したい課題に対し て、行動を起こすことができる。	49.6	33.9	49.3	26.9	42.1	32.4	40.3	36.1	48.0	30.8	41.2	35.1	49.4	39.6
	D	D 自分を意味ある存在として考え自信を 持ち、課題解決のために自分の役割を見つ け、全力で取り組み、遂行できる。	35.3	33.9	47.3	20.5	31.5	26.3	34.2	52.1	58.8	52.1	39.7	58.4	54.5	53.1
E 自分を振り返り (メタ認知力)、変え ようとする力 F マネジメント力	E	E 自分の言動や行動を高いレベルから見 つめ直し、常に改善しようとする意識を持 ち、次の行動に繋げることができる。	43.7	34.7	52.1	37.2	36.9	30.3	40.4	52.9	53.9	41.9	48.5	50.6	50.6	49.7
	F	F 自分や組織での取り組みを、計画性を 持って進めることができる。	36.9	38.9	44.1	20.6	19.7	32.4	34.2	36.1	50.0	35.9	32.4	39.0	44.2	39.6
G 主体性 H 寛容的態度 地域にとって次代の担い 手を輩出する	G	G 社会を支える当事者としての意識を持 ち、地域や国内外の未来を真剣に考えるこ とができる。	31.9	39.0	36.2	24.4	22.4	28.3	31.7	37.0	46.1	30.8	25.0	40.3	33.8	35.8
	H	H 文化や価値観の違いを受け入れ、 思いやる温かさを持ち、協調して共に高め ようとする事ができる。	78.1	67.8	71.1	62.7	63.2	66.8	72.3	77.5	60.7	67.6	64.9	69.2	71.4	69.2
I 協働力 地域に委され、地域に信 頼される	I	I 仲間と協力・協働しながら互いに高め あえる行動が取れる。	47.0	49.9	51.4	47.4	44.7	30.3	45.8	65.5	70.6	53.0	47.1	49.4	59.7	58.6
	J	J 地域に対する愛着を持ち、地域の良さ を認めつつ、地域課題の解決に貢献したい と思う。	31.9	31.3	33.6	20.5	14.5	19.3	26.8	37.8	37.3	35.9	26.5	37.7	40.3	36.2

※「赤」で表示された数値は、前年度比で増加したものの

1	<p>【普通科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和元年度評価(「3以上」の回答)と比較し、「73.3%」の項目の値が向上した。 ◆1年次より、「総合的な探求の時間」や「白石SEAP(キャリア教育)」といった系統立てた学習活動を継続していることにより、早期の段階から「地域課題」に対する関心が高い。 ◆職員集団全体での取り組みが徹底されており、職員間の情報共有・認識も一致していることから一定の効果を挙げている。 ◆その反面、第3学年の回答結果は、「自己」または「地域社会」に対する認識を厳しめに見ていると思われる。
2	<p>【商業科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和元年度評価(「3以上」の回答)と比較し、「93.3%」の項目の値が向上した。 ◆3年次「課題研究」の授業を活用した実践を試みた分、「第3学年」の数値が一番高くなっている。 <ul style="list-style-type: none"> 1・2学年の意識向上の中に「自らが取り組んだ成果」という観点は薄かったと思われる。 ◆3年次「課題研究」の授業を活用した実践を試みた分、「教科担当者」以外の認識に差があることは否めない。 ◆「地域課題」に関する意識は確実に向上している。
3	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆令和元年度評価(「3以上」の回答)と比較し、「90.0%」の項目の値が向上した。学年ごとでは、「3年 → 70% 2年 → 100% 1年 → 80%」の項目の値が向上した。 ◆令和2年度の主要課題としていた「自己肯定感(自己有用感)の向上」については、明らかな向上が見えた。 ◆「地域課題」や「地域への関心」についても、明らかに向上している。 ◆「商業科キャンパス」での伸びが顕著である代わりに、「普通科キャンパス」では高いレベルかつ、冷静に自己分析や地域理解が進んでおり、客観的な評価結果が出ている。
4	<p>【次年度への課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「両キャンパス共通」の取り組み促進 → 自治体との協調、フィールドワークの活用など ◆「商業科キャンパス」における系統立てた学習計画の構築 → さらなるキャリア教育の推進や「校務分掌」上の位置付け → キャリア教育主体(進路指導) ◆「総合的な探求の時間(教務)」の導入? <ul style="list-style-type: none"> 学校活動に関する情報発信(企画) ◆職員集団の意識向上と共通理解(将来的なコミュニティスクール構想へつなげる橋渡し?) ◆自治体および地域関連団体とのさらなる関係構築 → NPOや商工会など <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 中心となる推進母体は? </div>

令和3年度 新白石高校「夢T∞Tプロジェクト」予定

別紙2

佐賀県立白石高等学校

実施月	取 組 内 容		
	普 通 科 キ ャ ン パ ス	商 業 科 キ ャ ン パ ス	
1 学 期	4月	探究オリエンテーション 地域連携講座	課題研究オリエンテーション
	5月	第1回チーム会議 第1回プロジェクト会議 第1回指定校情報交換会	第1回チーム会議 第1回プロジェクト会議 第1回指定校情報交換会
	6月	小中学校連携：白石アスリート陸上練習会 大学と連携した進路講演会 総合的な探究の時間	課題研究 大学と連携した進路講演会 課題研究
	7月	総合的な探究の時間	3町役場でのプレゼンテーション(地域課題) 課題研究
夏 休 み	8月	小中学校連携：白石アスリート陸上練習会 第2回指定校情報交換会	小中学校連携：中学生対象プログラミング教室 小中学校連携：小学生対象プログラミング教室 地域連携：高齢者対象タブレット教室 第2回指定校情報交換会
2 学 期	9月	総合的な探究の時間 小中学校連携：白石アスリート陸上練習会	企業連携：企画プレゼンテーション 地域連携：3町での企画イベント 課題研究
	10月	総合的な探究の時間 ESD講演会 小中学校連携：白石アスリート陸上練習会 第2回チーム会議 第2回プロジェクト会議 和太鼓実習(1・2年生)	課題研究 地域連携：3町での企画イベント 第2回チーム会議 第2回プロジェクト会議
	11月	成果発表会(実践報告会) 小中学校連携：地元小中学生との剣道合同稽古会 総合的な探究の時間 職業人講話 高校生徒会長による中学校訪問 課題解決に向けたフィールドワーク	成果発表会(実践報告会) 高校生徒会長による中学校訪問 課題研究
期	12月	総合的な探究の時間 「夢を形にプロジェクト」発表会 第3回チーム会議 第3回プロジェクト会議 実践報告書提出	課題研究 第3回チーム会議 第3回プロジェクト会議 実践報告書提出

3 学 期	1月	総合的な探究の時間	課題研究
	2月	総合的な探究の時間	課題研究発表会
	3月	総合的な探究の時間	

